



「真実とはこういうものだ」!

アメリカ、欧州、日本、中国、そして世界の真実を、単なる私の想像や見解ではなく、1914年（第一次世界大戦）どころか16世紀（英国の産業革命）まで遡って探り当てたのが今回の「小冊子」（Vol.39）の価値あるところ。

パックス・ブリタニカ（英国の天下）がパックス・アメリカーナ（アメリカの天下）になったというか、そうされた理由。（では、誰に、何故？）

「朕は国家なり」が「主権在民」（民主主義）になった本当の理由。

誰がやったにしろ（9/11）、アメリカは、国際貿易センタービル（2棟）が破壊されたくらいのことで何故（下手な理由で）アフガン、イラクまで軍事侵攻しなくてはならなかったのか？

その本当の理由が分かると「尖閣諸島の真実」が分かる!!!

経済のABCを百も承知のFRB(連邦準備委員会)バーナンキ議長は何故ゼロ成長の米経済の株価を150%も上げたのか？

それが分かると（イスラエルではなく）アメリカは何故突然ある国を空爆するかがわかる！

何故イスラエルは執拗にイランの核施設空爆を主張するのか？（空爆は核施設ではない!）

その裏で、本当は何処（場所ではない、国）を空爆しようとしているのか（アメリカの空爆先とは違います）？

今までオバマ大統領が反対していた対イラン軍事行動を何故25日の国連総会で覆したのか。（そろそろアメリカの本音が見えてくる）

それは9月11日駐リビア大使が「何者」（アルカイダではない）かに殺害されたから!?

今のアメリカ経済は「超マネー・バブル!」、「超財政悪化!」、「超無能政治!」（もっとも正直な日本と違い、わざとそうしているのだが、）

これで株価暴落が無い方がおかしいのに、、、「超カネ持ち」は「ほっと」した顔をしている。

それは何故か？

それは「シリアの犠牲者の数」に関係がある!

日本の総選挙後は安倍晋三内閣だが、これは正にアメリカの選択!

何故?!

2020年に必ず起きる日中戦争（中国が仕掛けてくる）で日本はまた昔の「強い日本」になる!

昔は「カネ」も「技術」もなかったが、今は違う。

核兵器だって何時でも持てる!

さて世界一頭の良いアメリカ（私ほどではない、）、何故なら私にはアメリカの考えていることはお見通しだから）は何を考え、何をしてくるか?!

株、金（ゴールド）、為替、商品市場で駄目なもの絶対のものがある!

すべて「小冊子」（Vol.39）を読めば察しがつくというもの!!!

共に学び、鍛錬して明日を知り、自信を高めようではありませんか。

二歩先を行く、増田俊男の『ここ一番!』大好評発信中!

現在、増田俊男の「ここ一番!」(有料配信)を大好評発信させて頂いております。

9月は、3日、10日、12日、14日、18日、20日、26日に発信しています。

内容は、株・為替・金(ゴールド)を中心に内外政治・経済速報です。

お申込み・お問合せは、(株)増田俊男事務所 TEL:03-3955-6686 まで

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前に株式会社増田俊男事務所（TEL03-3955-6686）までお知らせ下さい。